

Press Release

報道関係者各位

2020年10月29日

シュナイダーエレクトリック

シュナイダーエレクトリック、完全オンラインでインタラクティブなコミュニケーションを実現するデジタルイベント「Innovation Summit East Asia 2020」を開催

- 10月8日に開幕した「Innovation Summit World Tour 2020」の東アジア圏向けのエリア限定イベントとして開催
- シュナイダーエレクトリックの EcoStruxure™ アーキテクチャやプラットフォームについて、最新の製品やソリューションを発表
- 基調講演やストラテジートーク、3Dの展示コンテンツ Innovation Hubなどで、より来場型イベントに近いバーチャル体験を提供

エネルギー管理およびオートメーションにおけるデジタルトランスフォーメーションのリーダーであるシュナイダーエレクトリックは、オンラインイベント「Innovation Summit World Tour 2020」の東アジアエリア版「Innovation Summit East Asia 2020」を11月4日（水）に開催します。

これまで毎年、全世界各地で開催してきたシュナイダーエレクトリックの主催イベント「Innovation Summit」は、5年目を迎えた今年、初めて完全オンラインで開催することとなりました。「Innovation Summit World Tour 2020」として10月8日に開幕した今年のイベントは、8週間にわたって世界10のエリアそれぞれに向けてインタラクティブなコンテンツを展開するバーチャルイベントとして開催しており、気候変動を1.5°Cに制限する低炭素社会へ移行するために、電化、デジタル化、イノベーション、エネルギー管理、および産業オートメーションが果たす重要な役割を、世界各地の参加者へ届けています。



Innovation Summit World Tour 2020 バーチャルロビー

Page | 1

道関係からのお問合せ先

シュナイダーエレクトリック

広報担当：松田 依子（まつだ よりこ）

TEL：070-2324-6673

Email：PR-Japan@se.com

Press Release

イベント期間を通して、シュナイダーエレクトリックは 2021 年に発売予定の製品を発表します。（以下は一例）

- **革新的でグリーンなスイッチギヤ「SM Air SeT」** ※日本未発売

SM AirSeT は、空気絶縁技術と真空技術の組み合わせにより、温室効果ガスである六フッ化硫黄（SF6 ガス）を使用しないことを可能にしたスイッチギヤです。これまで電力系統や産業用電気設備では、優れた絶縁性能をもつ SF6 ガスがスイッチギヤをはじめとした電気機器に使われてきましたが、この SM AirSeT は SF6 ガスを使わないことにより、CO₂換算で数百万トンの削減を実現します。この新しい技術は、今年 10 月に東京で開催された Innovation for Cool Earth Forum (ICEF)で、トップ 10 イノベーションに選出されました。

- **EcoStruxure™ Automation Expert** ※日本未発売

世界初のソフトウェア中心の産業用オートメーションシステム。運用ライフサイクル全体を通じて段階的な改善を実現します。

今回、東アジア圏のお客様に向けたエリア限定イベントとして 11 月 4 日（水）に開催する「Innovation Summit East Asia 2020」は、日本の他にシンガポール・マレーシア・フィリピン・インドネシア・台湾・タイ・ベトナムを対象としており、コンテンツは全て英語で配信されます。

イベント当日は、シュナイダーエレクトリックの CEO ジャン＝パカル・トリコワによる基調講演の他、エリア向けの独自コンテンツとして、各カントリープレジデントが登壇するパネルディスカッションにて、アフターコロナの世界におけるサステナビリティとレジリエンスをテーマに、各国のサステナビリティへの取り組みや効果などについて紹介します。様々なスピーカーを招いて対談・鼎談を行うストラテジートークや、シュナイダーエレクトリックの最新ソリューションをより深くご紹介するエキスパートラーニングセッションもご視聴可能です。また、「3D Innovation Hub」では、3D 空間に展示されたシュナイダーエレクトリックの最新ソリューションを、まるでイベントブースを巡るように見学でき、展示空間のツアー動画もご覧いただけます。



Auditorium（バーチャルセッション会場）



Innovation Hub（バーチャル展示）

今回、イベントが完全オンラインでの開催となることで、シュナイダーエレクトリックではより多くのお客様にお越しいただけるチャンスととらえています。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

道関係からのお問合せ先

シュナイダーエレクトリック

広報担当：松田 依子（まつだ よりこ）

TEL：070-2324-6673

Email：PR-Japan@se.com

Press Release

【開催概要】 Innovation Summit East Asia 2020

日時：2020年11月4日(水) 日本時間 10:45 - 13:00

場所：オンライン

登録：無料、事前登録制 ご登録サイトは[こちら](#) / 視聴可能なセッションは[こちら](#)

EcoStruxureについて

「EcoStruxure™」は、オープンで相互運用性を備えた、IoT 対応のシステムアーキテクチャでありプラットフォームです。安全性、信頼性、効率性、持続可能性、接続性を向上させ、お客様に高い価値を提供します。EcoStruxure は IoT、モビリティ、センシング、クラウド、アナリティクス、サイバーセキュリティの先進技術を活用し、「Innovation at Every Level（あらゆる階層でのイノベーション）」を実現します。これには、「コネクテッド製品」、「エッジコントロール」、および Customer Lifecycle Software がサポートする「アプリケーション・アナリティクス・サービス」などがあります。EcoStruxure™は約 50 万カ所の事業拠点に導入され、2 万以上の開発者、65 万のサービスプロバイダーおよびパートナー、3,000 の公益企業のサポートを受け、200 万以上の管理対象資産を接続しています。

エネルギーおよび持続可能性コンサルティングから業務システムのライフサイクルの最適化まで、当社は全世界的サービスを用意して皆様のビジネスニーズに対応します。顧客本位の組織であるシュナイダーエレクトリックは信頼のおけるアドバイザーとして、資産の信頼性向上、ToC（総所有コスト）の改善、そして持続可能性や効率性、安全性に向けた企業のデジタルトランスフォーメーションを推進します。

Schneider Electricについて

シュナイダーエレクトリックは、あらゆる人がエネルギーや資源を最大限活用することを可能にし、世界の進歩と持続可能性を同時に実現することを目指しています。私たちはこれを「Life Is On」と表現しています。

私たちの使命は、持続可能性と効率性を実現するためのデジタルパートナーになることです。

世界をリードするプロセス技術やエネルギー技術と、エンドポイントとクラウドをつなぐ製品、制御機器、ソフトウェアやサービスを、ライフサイクル全体を通して統合し、その統合された管理を住宅、ビル、データセンター、インフラストラクチャ、各種産業に展開することでデジタルトランスフォーメーションを推進します。

私たちは、最もローカルなグローバル企業です。社会にとって意義深い目的を持ち、多様な意見を取り入れ自ら行動するという価値観を持って、オープンスタンダードとパートナーシップエコシステムの拡大に尽力します。

www.se.com/jp

Discover Life is On

Innovation At Every Level

Follow us on:       

道関係からのお問合せ先

シュナイダーエレクトリック

広報担当：松田 依子（まつだ よりこ）

TEL：070-2324-6673

Email：PR-Japan@se.com